

38 大学との連携・交流

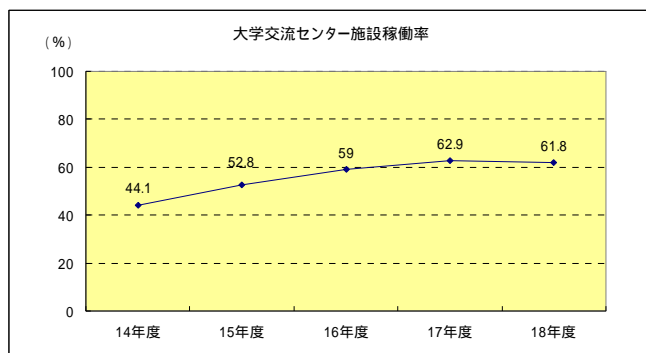
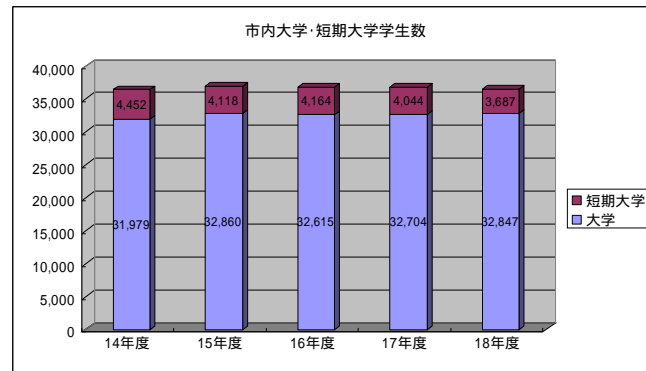
現状と課題

本市には、特色ある10の大学・短期大学を中核とする高度で豊富な学術研究機能の集積があり、これは他市にはみられない本市の優れた都市としての特性になっています。

平成4年に大学、行政、市民の連携を柱とする「カレッジタウン西宮」構想が取りまとめられました。

市民、大学、行政の連携を推進する拠点施設として、平成13年にオープンした「西宮市大学交流センター」では、市内の10大学・短大、市、商工会議所で西宮市大学交流協議会を組織し、「大学間の交流」「市民と大学の交流」を目的とした様々な事業を展開しています。

大学は、高等教育機関としてだけでなく、まちの風格やにぎわいなど、都市力を高める存在であり、大学の持つ教育・研究などの知的資源や、学生を中心とした若者の感性や活力を、文化の発展や地域の活性化などのまちづくりへと結び付けていくことが必要です。



基本方針

個性豊かな大学の集積の維持・発展に努めるとともに、大学間の交流や大学と地域社会との交流、産業界との連携を深め、魅力に満ちた「大学のまち・西宮」の推進を目指します。

主要な施策展開

(1) 市民と大学の交流の促進

高度化・多様化する市民の学習ニーズに対応するため、各大学の公開講座やイベントなどの情報発信に努めるとともに、市内の様々な大学施設を市民に可能な限り開放するなど、地域に開かれた大学づくりを働きかけ、大学と地域社会との交流促進を図ります。

また、若い力をまちづくりに活かすため、学生のボランティア活動や、社会参加を促進します。

(2) 大学間交流の推進

単位互換制度に基づく共通単位講座等の実施により、大学間の相互交流を通じて教育課程の充実を図るとともに、学生の幅広い視野の育成と学習意欲の向上を図ります。

(3) 「産学官民」の連携促進

大学等の知的・人的資源と市内産業等の連携により、本市にふさわしい産業の創出を促すため、「産学官民」の連携による異業種交流事業に取り組みます。また、市内在住・在学の学生の主体的活動により、地域の活性化を図るための事業を推進します。

市民一人ひとりの活動

西宮市の都市としての特性である大学と交流を図る。

まちづくり指標

<指標の考え方>

「カレッジタウン西宮」構想を推進していく拠点施設である大学交流センターの有効活用を重点目標に位置付け、質の高い講座の実施、稼働率の向上（来館者の増加）を目指していきます。

重点	指標名	単位	現状値(H18)	目標値(H30)	指標方向
	大学交流センターでの講座等の参加者満足度	%	88.0	100.0	↑
	H30目標値の設定理由	式	-	-	より満足度の高い講座の実施を目指し、最高値を目標に設定
	大学交流センター稼働率	%	61.8	70.0	↑
	H30目標値の設定理由	式	施設利用件数 / 施設利用可能件数	-	類似の施設利用率（京都市）および近年の状況を参考に設定
	大学共通単位講座受講者延べ人数	人	349	500	↑
	H30目標値の設定理由	式	-	-	近年の状況を踏まえて設定

主な部門別計画

カレッジタウン西宮構想 【総合企画局：平成4年～】